

日本糖質学会ポスター賞 受賞者

| 回 (年会) | 受賞者と受賞テーマ |
|---|--|
| <p>第 19 回 (第 35 回日本糖質学会年会) 2016 年</p> | <p>化学系 石井 希実(群馬大学大学院理工学府) 5糖蛍光プローブを用いたエンド-β-N-アセチルグルコサミニダーゼの活性検出 三宅 秀斗(大阪大学大学院理学研究科) HaloTagテクノロジーによる生細胞への糖鎖提示とそれを用いた機能解析 生物系 平田 哲也(大阪大学微生物病研究所) 立体構造モデルに基づいたGPI-GalNAc転移酵素PGAP4によるGPI側鎖合成機構 渡辺 昂(九州大学大学院農学研究院) 病原性真菌は免疫賦活化糖脂質を分解することでMincleを介した自然免疫系から逃避する</p> |
| <p>第 18 回 (第 34 回日本糖質学会年会) 2015 年</p> | <p>化学系 中川 翔 (大阪大学 大学院理学研究科) NKT細胞の活性化機構解明を目指したホスファチジルイノシトールの合成とその生理活性 木内 達人 (大阪大学 大学院理学研究科) ハイマンノース型糖鎖を有するエリスロポエチンの系統的合成とそれを用いたフォールディングセンサー酵素UGGTの基質認識能の評価 生物系 山口 亜利沙 (高知大学 先端医療学推進センター) EMARS法は各GPI-アンカータンパク質分子種が固有の脂質ラフトドメインを形成することを明らかにした 新美 百希 (名古屋大学 大学院生命農学研究科) ポリシアル酸転移酵素STXとPSTにより生合成されるポリシアル酸の構造及び分子保持機能の解析</p> |
| <p>第 17 回 (第 33 回日本糖質学会年会) 2014 年</p> | <p>化学系 柿田 浩輔 (北海道大学 大学院薬学研究院) 抗ヘルペスウイルス活性をもつシアル酸含有糖ペプチド及び類縁体の合成 真木 勇太 (大阪大学 大学院理学研究科) 天然から単離した二分枝複合型糖鎖を利用するヒト型三分枝糖鎖の合成研究 生物系</p> |

| | |
|---|---|
| | <p>原田 陽一郎（理化学研究所GRC 糖鎖代謝学研究チーム） グルコース飢餓によって誘導されるドリコールオリゴ糖の未成熟分解の発見とその分子機構の解明に向けて</p> <p>松岡 修平（名古屋大学 大学院生命農学研究科） ポリシアル酸はNCAM細胞外ドメインの切断を制御する機能を持つ</p> |
| <p>第 16 回 （第 32 回日本糖質学会年会） 2013 年</p> | <p>化学系</p> <p>竹内 裕紀（京都大学 化学研究所） グルコースの位置選択的修飾による配糖体合成</p> <p>宮川 淳（名古屋工業大学大学院 物質工学専攻） 分岐オリゴ糖カンライブラリー構築による多糖加水分解酵素の切断特異性の解明</p> <p>新地 浩之（鹿児島大学大学院理工学研究科） ガングリオシド糖鎖固定化蛍光性ナノ粒子を用いたギラン・バレー症候群簡易診断法</p> <p>生物系</p> <p>芳賀 淑美（理化学研究所糖鎖代謝学研究チーム） 標的タンパク質の糖鎖修飾蛍光イメージングと細胞内動態解析</p> <p>澄田 智美（日本学術振興会特別研究員PD、理化学研究所 SSBC、理化学研究所横山構造生物学研究室、九州大農学研究科生命機能） 糖脂質に作用する新規β-N-アセチルガラクトサミニダーゼの発見及び触媒機構の解析</p> |
| <p>第 15 回 （第 31 回日本糖質学会年会） 2012 年</p> | <p>化学系</p> <p>山口 拓実（自然科学研究機構・統合バイオ、総研大・物理、名古屋市大・院薬） 常磁性NMR法による糖鎖の動的立体構造解析</p> <p>鈴木 達哉（岐阜大・応用生物、京都大・iCeMS） セレン標識糖鎖の合成と糖鎖-蛋白質複合体の立体構造解析への応用</p> <p>生物系</p> <p>矢木 宏和（名古屋市大・院薬） 神経幹細胞の幹細胞性維持におけるN型糖鎖の機能解明</p> <p>堺谷 祐太（名古屋大・院医） 新規 O-GlcNAc 転移酵素の基質認識と生物学的役割</p> <p>木塚 康彦（理研、基幹研） エピジェネティクスによる脳特異的な糖転移酵素の発現制御メカニズム</p> |
| <p>第 14 回 （第 30 回日本糖質学会年会）</p> | <p>化学系</p> <p>塩入 優紀（東京工業大学大学院・生命理工学研究科） 糖鎖構造解析を応用した質量分析法による不斉中心の立体化学決定</p> <p>河村 奈緒子（岐阜大学・応用生物科学） 蛍光GM3、GM1プローブの合成と1分子追跡実験によるラフト分配特性の解析</p> <p>生物系</p> <p>松本 康之（名古屋大学大学院・医学系研究科） pp-GalNAc-T13は trimeric Tn抗原を形成し癌転移を亢進させる</p> <p>中村 真男（茨城大学大学院・理工学研究科） 硫酸化グリコサミノグリカンが規定する生理的濃度の内分泌因子によるシグナル伝達</p> |

| | |
|------------------------------------|---|
| <p>第 13 回 (第 29 回日本糖質学会年会)</p> | <p>化学系 井上 菜穂子 (浜松医大・分子解剖) イメージングマスペクトロメトリーによる糖脂質の局在解析 中島 慎也 (岐阜大学大学院院連合農学研究科) ラクト及びガングリオ系二系列を同一分子中に有するハイブリッド型ガングリオシドの全合成 櫻井 絢花 (理研・基幹研究所、埼玉大学大学院理工) 凍結条件下におけるグリコシル化反応の濃度の効果について 生物系 樺山 一哉 (東海大学糖鎖研究所) 細胞膜分子の側方拡散を制御する糖脂質マイクロドメイン 大海 雄介 (名古屋大学大学院医学研究科) GM3 only マウスの神経変性における補体の役割</p> |
| <p>第 12 回 (第 28 回日本糖質学会年会)</p> | <p>化学系 岡本 亮 (横浜市大大学院国際総合科学) 新規糖ペプチド鎖連結法の開発 松村 史子 (東京大学大学院新領域) リン原子修飾型糖 1-リン酸類縁体の合成法 生物系 岡田 拓也 (筑波大学大学院人間総合科学) ヘパラン硫酸 6-O-エンドスルファターゼは正常な神経回路形成に必要である 内藤 裕子 (京都大学大学院生命、JST・CREST) 活性化 T 細胞における N-グリコリルノイラミン酸の発現抑制とその機能的な意義の探索</p> |
| <p>第 11 回 (第 27 回日本糖質学会年会)</p> | <p>化学系 田中 克典 (大阪大学大学院理学研究科) アザ電子環状反応を用いた超高速標識化法の開発：糖タンパク質の PET イメージング 尾形 槇 (岐阜大学大学院院連合農学研究科) インフルエンザウィルス感染阻害剤としてのシアロ人工糖鎖ポリペプチドの分子設計 生物系 橋井 則貴 (国立医薬品食品衛生研究所) LC/MSⁿによる目的部分糖鎖構造を持つ糖タンパク質の特異的同一性 小谷 典弘 (高知大学医学部) 細胞膜上分子間相互作用生化学的可視化法の開発</p> |
| <p>第 10 回 (第 26 回日本糖質学会年会)</p> | <p>化学系 長堀 紀子 (北海道大学大学院先端生命科学院) 糖鎖金ナノ微粒子を基質として用いた糖転移反応の (MA) LDI-TOF MS による迅速モニタリング 田中 伸一 (大阪大学大学院理学研究科) マイクロフローシステムを活用した効率的な α-シアリル化法の開発 生物系 梶谷内 晶 (産業技術総合研究所糖鎖工学研究センター) β1,3-N-アセチルグルコサミン転移酵素 2 遺伝子ノックアウトマウスの解析</p> |

| | |
|---------------------------|--|
| | 林 康広（九州大学大学院生物資源環境科学研究府） Klotho related protein はグルコセレブロシダーゼ活性を有する |
| 第 9 回 （第 25 回日本糖質学会年会） | 化学系 中の 三弥子（大阪大学大学院医学研究科） 蛍光ラベル化法を用いた糖タンパク質糖鎖の on-line ESI MS 分析 飯島 一智（慶應義塾大学大学院理工学研究科） 脂質ラフト中におけるガングリオシドの分布の AFM 観察 生物系 豊田 亜希子（千葉大学医学院薬学研究科） ショウジョウバエ GAL4-UAS システムを用いた新規糖鎖遺伝子 <i>Glycomaster-1</i> の発見 奥田 徹哉（名古屋大学大学院医学研究科） ペロ毒素による病態は、生体内の Gb3 発現に完全に依存する |
| 第 8 回 （日米合同糖質科学会議・ハワイ） | 石水 毅（大阪大学大学院理学研究科） Endo- β -Mannosidase, A Plant Enzyme Acting on N-Glycan: Purification, Substrate Specificity, and Molecular Cloning 神谷 由紀子（名古屋市立大学大学院薬学研究科） Structural basis of sugar recognition by the cargo receptor VIP36 松村 憲吾（月桂冠(株)総合研究所） Carbohydrate-binding specificity of a fucose-specific lectin from <i>Aspegillus oryzae</i> 高橋 忠伸（静岡県立大学薬学部） Molecular mechanism and evolutionary analysis of human influenza A virus N2 neuraminidase genes based on the transition of the low-pH stability of sialidase activity |
| 第 7 回 （第 24 回日本糖質学会年会） | 化学系 大塚 功（三菱化学生命科学研究所） 固相合成法による糖鎖ライブラリーの創製に関する基礎研究 戸谷 希一郎（理化学研究所） 糖メトトレキセート複合分子プローブの合成と人工タンパク質創製への応用 生物系 Byung-Taek Kim（神戸薬科大学） Core Protein Sequence in Addition to the EXT1-EXT2 Interaction is an Absolute Requirement for <i>In Vitro</i> Heparan Chain Polymerization 湯山 耕平（東京都臨床医学総合研究所） 三量体 G タンパク質 Go の神経細胞膜ラフトにおけるシグナル伝達とガングリオシド |
| 第 6 回 （第 23 回日本糖質学会年会） | 化学系 土肥 博史（名古屋大学大学院工学研究科） 志賀毒素を無害化する糖鎖フラレンの分子設計 能登 香（お茶の水女子大学大学院人間文化研究科） 計算化学的手法によるガングリオシド糖鎖の高次構造の解析 生物系 大谷 克城（旭川医科大学医学部） 血管内皮に発現するスカベンジャー受容体様コレクチン CL-P1 のクローニングと機能の解析 末吉 紀行（九州大学大学院生物資源環境科学研究府） ゼブラフィッ |

| | |
|--|---|
| | シュ胚発生におけるスフィンゴ糖脂質合成酵素の機能解析 |
| 第5回 (第22回日本糖質学会年会) | <p>生物系</p> <p>千葉 靖典 (産総研・分子細胞工学) 出芽酵母によるファブリー病治療薬の開発</p> <p>周尾 卓也 (愛知県コロニー・研・周生期) 脳特異的プロテオグリカン、ニューロカン、ホスファカン、NGCの糖鎖構造の比較</p> <p>化学系</p> <p>三浦 剛 (野口研) 新規パーフルオロ型保護基の開発と糖鎖合成への応用</p> <p>深瀬 嘉之 (大阪大学大学院理学研究科) ライブラリー構築を目指したアフィニティー分離法による複合糖質リピドAの効率的な合成</p> |
| 第4回 (第21回日本糖質学会年会) | <p>米田 敦子 (工技院・生命研) ムチン型糖鎖クラスターで修飾されたFGF-1の創製</p> <p>中村 正 (帯広畜産大・生資科) 二次元 NMR による 3'-シアリルラクトースラクトンの立体構造解析</p> |
| 第3回 (XVth International Symposium on Glycoconjugates) | <p>佐藤 ちひろ (名古屋大学) Frequent occurrence and regulated expression of oligosialic acid residues in mammalian glycoproteins</p> <p>松岡 浩司 (埼玉大学) Synthesis of Carbosilane Dendrimers Uniformity Functionalized with the Carbohydrate Moieties of Globotriaosyl Ceramide As a Potential Drug for Neutralization of Microbial Toxin</p> |
| 第2回 (第20回糖質シンポジウム) | <p>及川 雅人 (大阪大学大学院理学研究科) ^{13}C 標識化リピドA類緑体の合成とNMR解析</p> <p>沖野 望 (九州大学大学院生物資源環境科学研究科) エンドグリコセラミダーゼ (EGCase) 遺伝子のホモロジークローニング</p> |
| 第1回 (第19回糖質シンポジウム) | <p>山田 修平 (神戸薬大・生化) ヘパリンの低硫酸化領域から単離した硫酸化五糖、六糖は特徴的な共通三糖配列-IdoA-GlcNAc-GlcA-を含む</p> <p>松尾 一郎 (明治乳業ヘルスサイエンス研究所) 酵素法と化学法を組み合わせた複合型糖鎖の合成</p> |